

廃棄物処理施設の現況

現在稼動している環境衛生センターの概要は下表のとおりである。

施設名称	茨木市環境衛生センター		
所在地	茨木市東野々宮町14番1号		
施設規模	450t/日 (150t/日の炉を3基配置)		
処理方式	全連続高温溶融炉 (シャフト炉式ガス化溶融炉)		
工場	名称	第1工場	第2工場
	処理能力	150t/日 (150t/24h × 1基)	300t/日 (150t/24h × 2基)
	履歴	昭和55(1980)年 7月 3基構成で新設	平成8(1996)年 3月 2基構成で新設
		平成11(1999)年 3月 1基を更新 (2基は後に廃止)	
	延命化工事	平成19(2007)年から24(2012)年に実施	
	寿命	平成41(2029)年 3月	平成38(2026)年 3月
余熱利用設備	蒸気タービン発電による環境衛生センター内での電力利用、給湯、暖房および隣接するし尿処理施設への電力供給。余剰分は電力会社へ売電。		
その他の設備	<ul style="list-style-type: none"> ・管理棟 ・粗大破碎棟 ・スラグヤード 	<ul style="list-style-type: none"> ・し尿処理棟 ・酸素発電棟 ・資源化物集積場 	

環境衛生センターには工場棟が2棟建設されており、第1工場に1基、第2工場に2基の溶融炉が配置されている。この内、第1工場は昭和55(1980)年に竣工し、平成11(1999)年に炉を1基更新している (他の2基は後に廃止)。一方、第2工場は平成8(1996)年に竣工したもので、更新していない。ごみ処理施設の耐用年数は一般的に20年程度とされているが、両工場ともに平成19(2007)年から24(2012)年に延命化工事を実施し、10年間延命化されている。現在稼動している設備は、第1工場が平成41(2029)年、第2工場は平成38(2026)年に耐用寿命を迎えることとなる。